



季節を知ったら  
暮らしが楽しくなった

（第一〇九号）

夏至 げし 六月二十二日



## ホタル飛ぶ

五十鈴川にホタルを飛ばす会の井手口克利かつとしさんから、「ホタルが飛んだよ」とのお知らせ。さっそくホタル見物をしようと出かけました。

途中、新橋近くの岸に並ぶ桑の木に立ち寄り、すっかりと色づいた桑の実をいただきました。その甘酸っぱいこと。桑の実を懐かしく思う方もいらっしゃるでしょうが、私にとっては目新しい味。木によって味が微妙に違うのも面白いものです。

今年のホタルの初見は、井手口さんによると去年と同じ六月五日。不思議なことに、大紀町や伊勢市横輪よこわでも同じ日に観測されたそうです。

夜の八時前、新橋の少し上流のホタル水路に行くと、川風は冷たく、半そででは寒いほどです。石段に座って待っていると、岸辺のこんもりとした木にまずホタルの光を見つけました。すると、ホタル水路の草むらでも光り始めました。源氏ボタルの幼虫を放流した時は、水も少なく、生育できるものかと心配しましたが、濁水や増水にも負けず、しっかりと育っていたのでした。

ふと私の袖に、ホタルが止まりました。一センチほどの大きさで、黄色い光を放っています。こうして間近にすると可愛いものです。しばらくすると空に飛んでいきました。

井手口さんが五十鈴川でホタルを育て始めて二年目。去年は一人で初ホタルを見て、涙が出るほど感動したと話してくれました。今年は、近くの人たちも噂を聞いて、一〇人ほどでホタル狩を楽しみました。

ホタルは六月下旬まで見られるとのこと。梅雨の晴れ間の夜、五十鈴川に小さな光がまたたいています。

文 千種清美

